



地域学校協働活動だより

令和6年10月22日発行 福島県教育庁県北教育事務所

地域で働く人から学ぶ

訪問日：令和6年7月18日（木）

場 所：川俣町立川俣中学校

内 容：第2学年 総合的な学習の時間 「働くことの意義」

地域の方々に支えられながら学んでいるんだね!!



川俣中学校では、2年生が職場体験に向けて地域の方から「働くことの意義」を学び、事前学習を充実させるとともに、自分のよさや可能性、人生や将来を考える学習を行いました。

この日は、4人の地域ボランティアの方々がわかりやすく説明をされていました。子どもたちは、4つのグループに分かれ、メモを取りながら熱心にお話を聞いたり、質問をしたりしていました。

学校のニーズに応じて・・・コーディネーターが地域へ繋ぐ

地域で働く人の話を聞いて生徒に学ばせたい。



地域連携担当教職員

依頼



コーディネーター

講師を探し、依頼します。その後、連絡と調整をします。

調整

教員は当日のグループの割り振りや生徒の支援を行うなど、教員とボランティアの役割分担がされていました。



学校の学習内容に合ったボランティアを探して依頼しています。

【地域の方の感想】

- ・子どもたちの目が輝いていた。今度は体験もさせてあげたい。
- ・これからも、学校に出向いて、子どもの学びの力になりたいと感じた。

【生徒の感想】

- ・将来の夢の選択肢が広がった。
- ・川俣町の農業の未来について考えた。
- ・介護施設にいる私のおじいさんの話を聞いてみたいと思った。

子どもたちの感想から、地域で働く人たちの話を聞くことで、学びが充実し、学習意欲が高まったことが伺えます。地域の方々のそれぞれの業種や立場の考えや視点を生かすことで、学びがより豊かになり広がりをもつようになります。地域の方々も、子どもたちとふれ合う中で、「学校の教育活動に協力していこう」という意識が高まったようでした。